

各位

日本生徒指導学会関西地区研究会 会長 新井 肇

日本生徒指導学会関西地区研究会第7回大会のご案内

初夏の候、皆様方にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、日本生徒指導学会関西地区研究会第7回大会を、下記の要領にて開催することになりました。
つきましては、多くの方々のご参加をお待ちしております。

大会テーマ

関西発！元気の出る生徒指導

～学校内外の連携・協働で子どもに笑顔を～



主催 日本生徒指導学会関西地区研究会

共催 日本生徒指導学会

後援 (申請中) 文部科学省 三重県教育委員会 滋賀県教育委員会 京都府教育委員会
大阪府教育委員会 兵庫県教育委員会 奈良県教育委員会 和歌山県教育委員会
京都市教育委員会 大阪市教育委員会 堺市教育委員会 神戸市教育委員会

期日 平成26年8月9日(土) 9:30~16:30

会場 京都教育大学 〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町1 TEL:075-644-8214

日程概要

9:30	10:00	12:00	12:30	13:00	14:00	14:15	16:30	16:45	18:30
受付	全体会	総会	昼休	自由発表	移動	分科会	移動	情報交換会	

※昼食は各自でご用意ください。

研究会参加費

* 会員 無料 * 非会員(当日参加) 2000円

* 情報交換会費 2000円

※研究会参加費(非会員のみ)・情報交換会費は、当日会場にてお支払いください。

なお、大会当日も研究会入会を受け付けております。

○ 全体会(1号館 大講義室 1)

10:00～12:00

テーマ 「これからの生徒指導を考える」
～イギリスのシティズンシップ教育を手掛かりに～

講師：城西大学経営学部 教授 新井 浅浩

イギリスでは、我が国の『生徒指導提要』にいう予防的・開発的生徒指導に該当するものとして、人格・社会性・健康・経済教育（PSHE）があります。

また 2002 年より中等学校で必修化されたシティズンシップ教育や、それ以前からの必修である宗教教育も、それと連携して展開されています。

これらの実践の実態や抱える課題をご紹介することによって、これからの生徒指導を考える手掛かりとしていただければ幸いです。

○ 自由発表(1号館 B1・B2 講義室)

13:00～14:00

発表希望者を募り生徒指導に関連した研究や実践報告の口頭発表を行います。会員の皆様に関われたセクションです。奮ってご応募ください。詳細はホームページ掲載の自由発表要項をご確認ください。

○ 分科会 (1号館 B2～B5 講義室)

14:15～16:30

第1分科会 「学校全体で組織的に取り組む生徒指導
(B2 講義室) ～道徳教育の充実が生徒指導を変える～」

講 師：兵庫教育大学 准教授 淀澤 勝治
発 表 者：湯浅町立湯浅中学校 校長 御前 充司

- ・「積極的な生徒指導」の一環として、全教職員あげて道徳の時間の研究に取り組んだ実践事例の報告
- ・「積極的な生徒指導」の促進と道徳教育に関する講義

今日、急速なグローバル化や科学技術の高度化、情報通信技術の進展、少子高齢化等、子どもたちを取り巻く社会の状況は激しく変化し続けています。また、豊かな感性の基盤となる生活体験や自然体験、友人や地域との交わりの機会の減少、人間関係の希薄化や、家庭や地域の教育機能の低下等により、子どもたちの規範意識や自尊感情等に課題が生じてきています。

こうした中、生命を大切にし、他人を思いやる心や社会貢献の精神、規範意識や公共心などを育むために生徒指導と道徳教育を両輪とした取組は、極めて重要であるという観点から実践報告等を行います。

第2分科会 「生徒指導における校内組織体制」 (B4 講義室)

発表者：滋賀県長浜市立北郷里小学校 教 頭 伊部 加代
滋賀県教育委員会 指導主事 廣部 光保

- ・ 小学校における不登校対応の実践報告
開発的生徒指導の視点を取り入れた不登校対策
- ・ 滋賀県教育委員会の組織的対応の取組
ケース会議を柱とした組織的対応

いじめや不登校問題については、学校の組織的な対応が何よりも重要なことでもあります。とりわけ、組織的対応が体制上難しい小学校ではその必要性はより高いと言えます。このため、今回滋賀県では小学校における組織体制づくりに焦点を当てて、学校現場の実践や県の取組を報告し、今後の対策に生かしていきたいと考えています。

第3分科会 「生活指導支援員の配置による学校支援体制について」 (B5 講義室)

発表者：大阪市教育委員会事務局 指導主事 福山 正樹
大阪市教育委員会事務局 指導主事 厚見 誠一

平成26年度より、生活指導支援員を小・中学校に配置し、学校の支援にあたりています。平成25年度は、警察官OB3名を「生徒指導支援員」として中学校に派遣する事業を実施しており、その成果と課題を受け、平成26年度には、この事業を強化し、派遣の形態から、配置希望校に1名の警察OBや教員OB等を配置する形態に変更して実施しています。4月より警察OBを、6月より教員OB等を配置し、いじめ・不登校・問題行動等に対して、教職員と協働しながら警察・教員OB等としての経験を活かした支援を行っています。この事業の現状と中間評価について報告します。

第4分科会 「いじめ等の未然防止・早期発見に関する取組」 (B3 講義室)

発表者：奈良県教育委員会事務局生徒指導支援室 研修員 中島 浩一
葛城市立新庄中学校 教諭 森嶋 正伸

- ・ いじめ等に関する組織的な情報共有ツールの一つとして、本年度よりすべての県立学校で運用を始めた「個人別生活カード」について
- ・ いじめ等の未然防止には、児童生徒が自らの行動を見つめ直す機会を設けることが重要である。生徒会が主体となり、「ライン」という身近な問題をテーマに、生徒自らが考え、発信する取組について

いじめ等の生徒指導上の諸問題を未然に防止し、または、早期に発見するためには、組織的に対応を進めることが必要です。

組織を効果的・効率的に動かすためには、適時の情報共有が不可欠です。そこで、組織的な情報共有を進めるためのツールを例にとり、ツール運用上の成果や課題を通して、組織力向上に向けた課題を探ります。

また、学校組織を、教職員による組織だけでなく、児童生徒、保護者、地域住民等、すべての関係者による組織と捉える視点も重要です。関係者全員による総合的な学校組織の在り方を探るために、生徒が情報モラルに関する啓発に取り組んだ事例を通して、生徒と教職員の協働の在り方やその課題について検討します。

○ 情報交換会（懇親会）

16:45～18:30

ご登壇いただいた講師にもご参加いただく予定です。大会会場できなかつた質問をしたり、新しい情報を収集できる交流の場ですので、ぜひご参加ください。

大会参加申込み方法

参加申込書を郵送またはFAXにて日本生徒指導学会関西地区研究会事務局に送付、もしくは研究会ホームページ（<http://jagc-kansai.net/>）から専用フォームにて申込みください。

締切日 平成26年 7月25日（金）

日本生徒指導学会関西地区研究会 第7回大会 参加申込書 コピーしてご利用ください

氏名				職名		
勤務先						
勤務先住所	〒					
TEL				FAX		
E-mail						
会員の種別 ※	（ ） 会員		情報交換会	（ ） 参加希望する		
	（ ） 非会員		参加※	（ ） 参加希望しない		
希望分科会	第1希望 第（ ）分科会			第2希望 第（ ）分科会		

※（ ）は、該当するものに○をつけてください。

注）会場の広さが限られているため、希望分科会にご参加いただけない場合があります。第2希望までご記入ください。

大会会場アクセスマップ 京都教育大学（京都市伏見区深草藤森町1）



JR 奈良線
JR 藤森駅下車 約 800m

京阪本線
墨染駅下車 約 1000m

大会事務局・連絡先 日本生徒指導学会関西地区研究会
〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町1 京都教育大学
Tel: 075-644-8214 Fax: 075-644-8339
E-mail: ikeda@kyokyo-u.ac.jp URL: <http://jagc-kansai.net/>